

ICEモデル

年越し
FD!

アクティブラーニングの 効果的なツール



日時 平成30年
12月26日(水)
15:00-16:30

場所 **岐阜大学**
全学共通教育棟 1階
コモンズ教室
岐阜県岐阜市柳戸 1-1

講師 **土持ゲーリー 法一 先生**

プロフィール

土持ゲーリー 法一 先生

帝京大学学修・研究支援センター長・教授
コロンビア大学大学院ティーチャーズ・カレッジ博士課程修了
教育学博士 (Ed.D.) 東京大学教育学博士 (Ph.D.)
監訳書に『「主体的学び」につなげる評価と学習方法：
カナダで実践される ICE モデル』
著書に『社会で通用する持続可能なアクティブラーニング：
ICE モデルが大学と世界をつなぐ』など多数

ねらい

“知識を授けるだけにとどまらない授業”
は、どう設計すればいいのでしょうか？
今回は、アクティブラーニング研究の第
一人者である土持先生から、学生の主体
的な学びを実現するための方策について
ご講演をいただきます。大学教職員だけ
でなく、小・中・高校の先生、これから
教師を目指す学生さん、看護師などの医
療職の養成に携わる方々なども、ぜひ皆
様お集まりください！